



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.20

緊急事態宣言解除され、早 3 カ月が過ぎようとしています。婦人会では、新型コロナウイルス感染症感染防止が日常化していることを日々感じています。そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

<北海道健康をまもる地域団体連合会>

<札幌市北区健康をまもるつどい>

札幌市北区健康をまもるつどい副会長の五十嵐秀子さんの発案で、高齢者サロンへの贈り物を作成する企画が立ち上がりました（写真 1）。不要不急の外出を避けるという政府の方針を忠実に守る元気な高齢者の在宅ストレスを少しでも和らげようと、手作りのブローチを作成し、複十字シールを貼ってプレゼントしました。少人数で、折り紙と留め金を使ってブローチを50個作り、2個ずつ透明のビニールに入れてプレゼントすると、皆さんプレゼントに喜んでいただきました。また同時に結核予防の啓発にもつながりました。

また、小学生のために児童用の布マスクを作成しました。3月～5月は札幌市内でもマスクが足りない状況が続き、ゴム紐の入手が困難を極めました。会員に呼びかけ、なんとか30枚作成できる材料が集まりました。会員が自宅で作成し、1枚ずつ透明の袋に入れて、複十字シールやシールぼうやのシールを貼って、小学校へ届けて普及啓発を行いました（写真 2）。



写真1 集まったボランティアの皆さんと手づくりのブローチ



写真2 児童用のマスクには、シールぼうやシールを貼りました

〈白糠町女性団体連絡協議会〉

白糠町社会福祉協議会のデイサービスを利用されている皆様に手作りマスクを寄附しました。

白糠町女性団体連絡協議会の役員は、特別に町の教育委員会からお借りしている社会福祉協議会内の「女性の部屋」と、自宅を活用し、手作りマスクを作成しました（写真3）。

8月中旬には社会福祉協議会を通じて、手作りマスクがサービス利用者到手渡されました。



写真3 「女性の部屋」で役員が集まり、作業をしました

〈札幌市北区北連合町内会女性部〉

北連合町では、健康講座と肺年齢測定会を10月15日（木）に、町内会女性部を対象に実施する計画を立てています。

健康講座のテーマは、感染症対策に焦点を当て「うつさない、うつらない、感染症から身を守ろう」という内容で実施する予定です。

〈札幌市北区鉄西女性部〉

鉄西まちづくりセンターで手作りマスクを作成しました。

4月に作成したものは、10月に開催予定の独居高齢者（78歳以上）の配食サービスの時に配る予定で90枚を作成しました（写真）。

8月に作成しているものは、鉄西地区町内会活動事業の一環として、10月以降に子どもや地域の方に“感染予防”を知ってもらう活動の際に使用したり、普段町内会の活動に参加していない世代に①町内会活動の重要性、②マスク制作を通じた町内会活動への参加を呼びかける機会を提供、以上2つ点を目的に、200枚を配布する予定です。



写真 鉄西まちづくりセンターの会議室をお借りしてマスクを流れ作業で作りました